

患者さんへ

疫学研究「救急外来での気道管理における代謝性アシドーシスと挿管後低血圧の関連」についての説明文書

1. この疫学研究の目的

挿管後低血圧は、救急外来における緊急挿管の一般的な合併症として知られています。挿管後低血圧は患者の転帰を増悪させるとされており、挿管後低血圧のリスクがあるかを事前に把握することは重要です。本研究では、循環の不安定性と関連するとされる代謝性アシドーシスと挿管後低血圧との関連を評価することを目的とします。

2. 疫学研究に参加していただく対象患者の疫学研究期間

当院の救急外来を受診し、2016年11月1日から2022年3月31日までに緊急挿管を必要とした患者を対象とします。

3. 本研究の研究期間

研究期間は2023年8月20日～2024年12月31日の予定です。

4. 疫学研究の方法について

当院の診療録から対象症例を抽出し、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査）、来院時情報、治療時情報、補助循環、集中治療室入室後経過、転帰などを抽出します。

代謝性アシドーシスのあった患者とそれ以外の患者で挿管後低血圧の発生頻度、院内死亡率、入院期間、集中治療室滞在期間を検討します。

5. 疫学研究への参加の自由と参加のとりやめについて

この疫学研究に参加するかしないかはあなたの自由意思によります。参加をお断りになられても、不利益を受けることはありません。たとえそれが疫学研究中であっても、あなたはいつでも参加をやめることができます。その場合は担当医師に申し出てください。また、代諾者の方もあなたと同様に同意を撤回したり、中止の申し入れをしたりすることができます。

6. あなたの人権・プライバシーの保護について

この研究では、個人を特定できるような氏名・診療カード番号・住所などの個人情報登録されておりません。また、人間関係や会話内容なども一切使用しません。

ご心配な点がございましたら、下記当院疫学研究責任医師までお問い合わせください。

7. この研究に関連する危険性、健康被害について

この疫学研究は、匿名化された過去の先行研究のデータを用いるものですので、患者への危険性や健康被害が起こる可能性は、一切ありません。

8. 費用の負担について

この疫学研究に参加することによる患者の費用負担は、一切ありません。

9. この疫学研究を担当する医師の氏名、連絡先

この疫学研究について分からないことやさらに詳しい説明が欲しい場合、気がかりなことがある場合は、いつでもご連絡ください。

疫学研究責任医師;

兵庫県災害医療センター

救急部 副部長

氏名; 須賀 将文 連絡先;078-241-3131

疫学研究協力医師;

兵庫県災害医療センター

救急部 副部長

氏名; 西村 健 連絡先;078-241-3131